

事務事業調書 平成23年度	No 339	課名 健康推進課	起案者 尾本裕子
事業種別 市民サービス		係名 成人保健係	決裁者
事務事業名 健康知識普及事業		区分 継続	業務一覧No 1, 5, 7, 14, 17
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり		予算科目(会計)		一般会計	
	1 健康		予算科目(款・項・目)		20-5-30	
	1 成人・老人保健		総合計画以外の計画		健康日本2 1 安城計画、高齢者保健福祉	
	1 生活習慣病予防		関連する総合計画の施策			
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの(義務的)		法定受託事務	無		
根拠法令	有	健康増進法(第3.4.17条)				
実施方法	一部委託	委託先	ボランティア			
実施期間	開始	昭和61年度	経過	25年目	終了	期間
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民が	~になる	健康づくりに関する情報、知識を得ることができる
事務事業の内容	健康づくりに関する知識を広めるため、教室や講話を行い、また広報等で啓発します。 《実施事業》 親がお手本!デンタル・ケア教室、市民健康講座、食生活普及事業、肥満解消教室、自殺対策緊急強化基金事業(家族向けこころの相談や講演会他)、体力測定会、乳がん自己検査法指導、骨粗しょう症予防指導、まちかど講座(健康増進)、健康情報の提供、医療機関一覧			
事務事業進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ●親がお手本!デンタル・ケア教室:19年度26回 開催保護者873人・園児978人、20年度35回開催 保護者969人・園児1046人、21年度39回開催 保護者890人・園児1110人・22年度45回開催 保護者957人・保護者1,190人 ●市民健康講座:19年度開催数8回662人、20年度開催数8回574人、21年度開催数8回387人、22年度開催数8回637人 ●食生活普及事業(ヘルスマイトへの委託事業)料理教室の開催:19年度2教室10回、159人、20年度4教 			
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ●親がお手本!デンタル・ケア教室:平成21年度から大人向けの講話とグループ指導時の回覧資料に「たばこと歯周病」についての内容を追加し、知識普及を図りました。 ●食生活普及事業:平成19年度から「お父さんと子どもの料理教室」を実施しました。平成20年度から「朝食のすすめ」を幼稚園や小学校等に、なぜ朝食が必要かを試食を交えて講話しました。 ●その他:平成21年度から肥満解消教室(私の減る脂イプラン)、各公民館まつり等で(体力測定会)、自殺対策基金事業(21~23年度)を実施しました。 			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	17,793	17,736	32,482	33,451	30,972	26,656	4,749
財源計 a	2,733	2,299	2,814	3,030	4,316	0	4,749
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	226	211	251	721	1,306	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,507	2,088	2,563	2,309	3,010	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	15,060	15,437	29,668	30,421	26,656	26,656	0
内訳 従事職員数	2.00	2.05	3.94	4.04	3.54	3.54	0.00
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	親がお手本!デンタル・77教室	見込(単位)	25.00	35.00	40.00	0.00
			実績b(単位)	35.00	39.00	45.00		
		指標名(単位)	開催数(回)	活動の総事業費f 実績	3,448	4,060	3,788	
			単位コストg=f÷b 実績	98.51	104.10	84.17		
	活動②	活動名(活動内容)	市民健康講座	見込(単位)	420.00	440.00	400.00	0.00
			実績b(単位)	574.00	387.00	637.00		
		指標名(単位)	参加者数(人)	活動の総事業費f 実績	1,901	1,434	1,358	
			単位コストg=f÷b 実績	3.31	3.70	2.13		
	活動③	活動名(活動内容)	ヘルスメイト主催の料理教室	見込(単位)	10.00	15.00	21.00	0.00
			実績b(単位)	19.00	23.00	23.00		
		指標名(単位)	開催数(回)	活動の総事業費f 実績	1,624	2,782	2,765	
			単位コストg=f÷b 実績	85.45	120.96	120.22		

5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	指標名・指標式(単位) 親がお手本!デンタル・77教室の内容に満足した人の割合(%) 満足した人数/アンケート(%)	見込(単位)	90.00	90.00	90.00	0.00
			実績(単位)	90.00	89.20	88.20	
			達成状況	達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	90.00	目標達成年度		平成26年度	
	成果2	指標名・指標式(単位) 市民健康講座の内容に満足した人の割合(%) 満足した人数/アンケート回答者数(%)	見込(単位)	70.00	70.00	75.00	0.00
			実績(単位)	75.00	83.00	67.00	
			達成状況	達成	達成	未達成	
		目標成果指標値	80.00	目標達成年度		平成26年度	

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	<p>活動①教室に参加し、デンタルグッズを使ってみようと思った方が27%(20年度)から35%(21年度)と増加し、セルフケア行動へ動機づけることができました。(アンケート回収率は、20年度:97%、21年度:98%)</p> <p>活動②健康日本21安城計画推進のため、若者のこころや禁煙、女性の健康など対象者の的を絞った講演を行ったため、今まで働きかけにくかった若い年齢層(64歳以下)の割合が11%増加しました。</p>	

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	活動①実施回数の増加により、臨時職員報償費や職員人件費が増加し、コストが増加しています。活動②講演会講師を国保の助成事業や大学の地域での貢献事業を利用したため、報償費を削減でき、単位コストが減少しました。
成果1,2	成果①アンケート結果は、「達成」に届きませんでした。個々のプログラム内容を見ると、すべてのプログラムで満足度が70%を超えた。特にデンタルグッズを使うグループ指導で、生活習慣などの改善の結果が83.2%とありました。 成果②参加者の希望のテーマを実施したことにより、参加者も増加し満足度も上がったと思われます。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	活動①満足した人の割合は高位で推移しているが、さらに教室の中でも満足度の低いプログラムを創意工夫します。	
	活動②講師に前年度の講座参加者の年齢層や会場の状況を伝え、わかりやすい講座内容や資料の検討をしていきます。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	参加者の希望するテーマを取り入れつつ、参加者数の増加(特に若い年齢層)と満足度を高めるよう、創意工夫して実施していきます。